

令和3年度 白河市文化芸術推進審議会第2回会議 会議録

○日 時 令和4年3月25日（金）15：00～16：25

○場 所 白河市立図書館 小会議室

○出席者 委員7名

宮田委員、久保田委員、浅川委員、小林委員、中上委員、
青砥委員、和知委員

事務局5名

鈴石公室長、小峰課長、鈴木係長、根本主任主査、折笠副主査

○欠席者 委員3名 小林委員、山本委員、須藤委員

○配付資料

次第

資料1 令和3年（1～12月）の主な実績等

資料2 令和3年度ふるさと文化振興基金への寄附状況について

資料3 令和3年度白河市文化振興補助事業の状況について

資料4 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について

参考資料1 白河市文化芸術推進審議会委員名簿

参考資料2 座席表

○公開状況 傍聴者なし

○内 容

1 開 会 15：00

2 会長あいさつ

3 議 事

※条例施行規則第5条第1項の規定、会長が議長となる。

(1) 令和3年白河市文化芸術推進基本計画における令和3年（1～12月）主な実績等
について

（事務局が資料1により説明）

議 長

このことについて、質問などがあるか。

委員からの主な質問や意見（・）と事務局からの回答（⇒）

【五箇中などの廃校の利活用について】

- ・学校は、空き教室など文化芸術の制作の場所として最適と思われる。アートセンターとして活用の可能性があり、東京都などでは好事例がある。
 - ・中学校の校舎は、映画等の撮影場所としてのニーズが高いほか、体育館はスケボー場として整備してはどうか。
 - ・コミ響の練習場所としての活用も考えられる。
- ⇒現在、教育委員会が所管しており、文化芸術への利活用の考えは既に伝えてあるが、再度、審議会の意見としてお伝えしたい。

【まちなか音楽 3Days について】

- ・まちなか音楽 3Days は大変よい取り組みであるので、今後も続けていただきたい。
 - ・演奏家にとっても、ホールを飛び出しまちなかで演奏することは、よい体験である。
 - ・まちなか音楽祭の最終日とビエンナーレの閉幕が同時期に予定されているので、タイアップしてクロージングセレモニーを賑やかにしてはどうか。
- ⇒令和4年度も実施予定である。

【狛犬などの地域資源について】

- ・県南地域の狛犬を巡っている人を多く見かけるようになった。伝統的な地域資源として今後も活用してもらいたい。
- ⇒昨年度、ガイドブック「狛犬めぐり」を発刊した。今年度も観光課において、マップ「狛犬めぐり」や「狛犬カード」を作成し、地域資源の掘り起こし、活用に取り組んでいる。

【南湖公園について】

- ・令和3年度は、竹灯籠や南湖フェスティバル、紅葉ライトアップなど、南湖に多くの人々が訪れた。更に、南湖のポテンシャルを活かしていくべきである。

【社会包摂について】

- ・文化芸術事業の中に、社会包摂に直接結びつく事業が見当たらない。例えば、障がい者がアートを通じて地域と触れ合う機会の創出などが考えられる。猪苗代町にある

「はじまりの美術館」で、障がい者による創作活動や展示に取り組みがあり参考になるのではないか。

⇒4年度のコミネス事業で、健常者も障がい者も一緒に見ることができるバリアフリー演劇「ヘレン・ケラー」を予定している。その他、文化芸術で障がい者を包摂するような事業について検討していきたい。

【専門家とのコラボ事業について】

・専門家と学生が関われる事業（南湖写生大会、ダンスWS）は、若い人のキャリアを変化させるきっかけとなる大変よい事業である。専門家の活動・創作拠点となるアートセンターがあると移住にもつながる。

【その他】

・南湖の石碑が倒れているところがあるが、どこに連絡すればよいか。
・境の明神の額に記載してある和算が、間違っていると思われる。
・市民会館跡地に建設予定の複合施設について、まちやコミネスと結びつけるような位置付けとしてもらいたい。

・これからの教育の方向性として、STEAM教育（サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、アート、数学）に着目している。アートが科学や工学、数学などを結びつけることで、様々な地域課題に向き合うことができる。つくば市では、市内の様々な研究機関でワークショップを開催する仕組みがあり、それぞれの専門分野を活かした学習活動が展開されている。

⇒それぞれ市役所内の関係課にお伝えしたい。STEAM教育については、今後研究していきたい。

(2) その他

－ なし －

4. その他

(1) 令和3年度ふるさと文化振興基金への寄附状況について

(事務局が資料2により説明)

(2) 令和3年度白河市文化振興補助事業の状況について

(事務局が資料3により説明)

(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について

(事務局が資料4により説明)

事務局より

コロナの状況は、まだ先を見通すことができないが、文化振興課、市役所内の関係各課、そしてコミネスや東文化センターにおいて、難しい状況下にあっても工夫しながら文化の灯をともし、市民の皆様に感度や潤いを届けられるよう文化芸術の振興に努めていきたい。

委員の皆様には、令和2～3年度の2年間にわたり審議会委員を務めていただき感謝申し上げます。委員の任期としては5月末日までとなるが、予定している審議会は本日が最後となる。令和4年度には白河市文化芸術推進基本計画の改定を予定している、関係する皆様には、引き続きよろしくようお願い申し上げます。

6 閉 会 16:25